



ふくほうのシンボルマーク

グリーンの三角は地域の発展を示し、白とグリーンで円を描いている部分は、皆様と当行のふれあいを表しております。この三角と円のハーモニーによって全体にイメージされる「F」のデザインは、地域と皆様の繁栄に貢献し、未来永久に幸せをもたらしていきたいという当行の決意を示しております。

The Fukuho Bank, Ltd.

発行／平成23年6月
編集／株式会社 福邦銀行 企画部
〒910-0023 福井市順化1-6-9
TEL／0776-21-2500(代表)
<http://www.fukuho.co.jp>

第103期 営業のご報告 [ミニ・ディスクロージャー誌]

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

ゆめBANK
福邦銀行



平成23年6月

取締役会長 三田村俊文
取締役頭取 東條 敬

プロフィール (平成23年3月末現在／単体ベース)

名 称	株式会社福邦銀行 THE FUKUHO BANK,LTD.
本店所在地	福井市順化1丁目6番9号
創 立	昭和18年11月5日
資 本 金	73億円
総 資 産	4,318億円
預 金	4,086億円
貸 出 金	3,129億円
自己資本比率	8.50% (国内基準)
店 舗 数	39カ店
従 業 員 数	567名

もくじ

ごあいさつ、プロフィール	1
経営強化計画、経営理念	2
業績ハイライト	3
金融の円滑化に向けた取り組み	5
金融サービスの向上	7
地域の皆様とともに	9
経営強化計画について	10
第103期連結財務諸表	11
第103期財務諸表(単体)	12
株式のご案内、株主優待について	13
店舗一覧、お問い合わせ先一覧	14

お客様感動への挑戦

目指す銀行像

お客様から相談され、個性が光る存在感のある銀行

基本方針

独自性とスピードによる経営強化

運動指針

{C.S.} 運動の推進=お客様との接点重視とフォローアップ

{C.S.} 運動とは

お客様と多くの接点を持ち、相談される存在となり、しかも速やかに問題を解決して満足していただく運動
Customer Contact Consultation Speed Solution Satisfaction

{C.S.} は「C」と「S」の集まり

CS [お客様満足] (Customer's Satisfaction)

重点課題

「収益力の強化」

- 全員営業による中小企業・個人取引の拡充
- お客様接点の増強と商品・サービス提供力の強化
- 業務の抜本的な見直しによる業務の効率化
- 経営効率化と収益管理の強化

「組織力の発揮」

- 全体最適を目指した仕組みづくり
- 組織・制度の改革と人材育成
- スピードを持って行動するシステムの構築

「ガバナンス態勢の強化」

- コンプライアンス態勢の強化
- リスク管理の高度化
- 内部統制態勢の堅強化

「財務基盤の安定化」

- ◆自己資本の充実による財務基盤の強化
- ◆トップライン収益とボトム収益の強化
- ◆与信コストの安定化

経営理念

地域社会への貢献

私どもは幸せな人間生活と豊かな社会づくりに貢献することを銀行活動の使命とします。

健全なる経営

銀行の発展は、地域社会への貢献の証しであり、私どもの存在を可能とするため、より健全な経営に心がけます。

活力ある職場

私どもが人間として尊厳を勝ちとるための練成の場として、明るく活力ある職場づくりに努めます。

福邦の心

至誠の心

信頼の絆と責任を自覚し、お客様にまごころを尽くします。

和の心

お互いの立場を理解し、喜びを分かち合う心を育てます。

進取の心

変化に対応する熱意と挑戦する心を養います。

共存共栄の心

お客様第一に徹し、共存共栄の心で奉仕します。

業績ハイライト

預金等の状況（単体）

預金残高は、流動性預金は増加しましたが、定期性預金が減少したことから、前期末比47億円減少の4,086億円となりました。預かり資産残高は国債および投資信託ともに減少し、前期末比55億円減少の307億円となりました。

預金残高の推移

(単位：億円)



預かり資産残高の推移

(単位：億円)

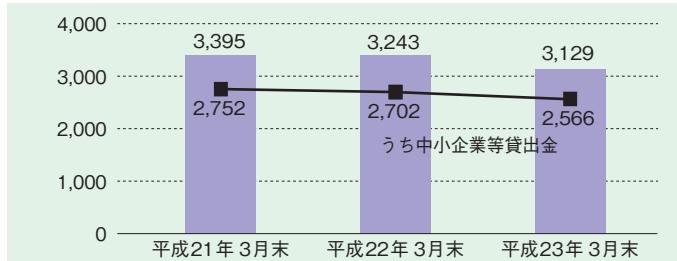


貸出金の状況（単体）

貸出金残高は、事業性貸出および消費者ローンともに減少したことから、前期末比113億円減少の3,129億円となりました。

貸出金残高の推移

(単位：億円)



住宅ローン残高・件数の推移

(単位：件)



(注) 中小企業等とは、資本金3億円（ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円）以下の会社または常用する従業員が300人（ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人）以下の企業等です。

損益の状況（単体）

経常収益は、貸出金利息収入および有価証券運用収益が減少した結果、前期比6億8百万円減少の103億28百万円となりました。

銀行の本業部分の収支を示すコア業務純益は、経費の削減等により前期末比2億2百万円増加し15億49百万円となりました。

経常利益は、コア業務純益の増加に加え、前期における予防的貸倒引当金の積増しが奏功し、9億25百万円と黒字化いたしました。

当期純利益は、固定資産の減損を計上したものの、経常利益の増加等により7億27百万円と黒字化いたしました。

用語解説（コア業務純益）

銀行本来の業務であげた利益から、業務を行う上でかかった経費と一時的な変動要因（債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額）を差し引いたものです。

コア業務純益

(単位：百万円)

平成21年3月末	1,414
平成22年3月末	1,347
平成23年3月末	1,549

経常利益

(単位：百万円)

平成21年3月末	△ 918
平成22年3月末	△ 2,410
平成23年3月末	925

当期純利益

(単位：百万円)

平成21年3月末	△ 2,002
平成22年3月末	△ 3,328
平成23年3月末	727

自己資本比率の状況（国内基準）

自己資本比率は銀行の安全性・健全性を示す重要な指標のひとつです。当行のように海外に支店を持たない銀行は国内基準の4%以上が義務付けられています。平成23年3月末のリスク・アセット（万一の場合、貸倒れの危険性のある資産）に対する自己資本の額は銀行単体169億円、連結175億円、自己資本比率は単体8.50%、連結8.76%、Tier1比率では単体7.55%、連結7.81%となっております。

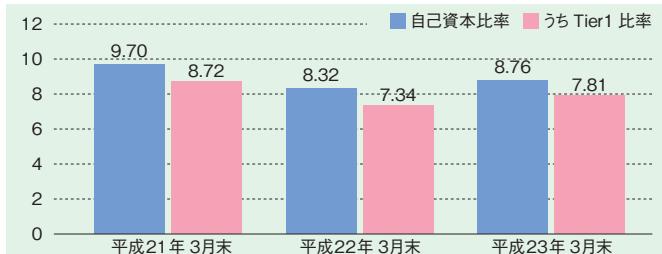
（単体）

(単位：%)



（連結）

(単位：%)



資産査定の状況

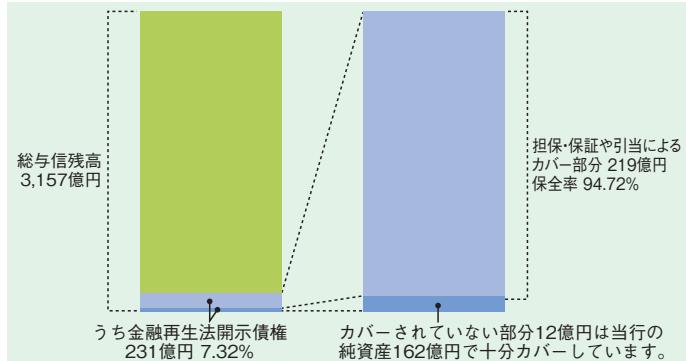
当行は、貸出金などの資産の価値に対して厳しく査定を行い適正な償却・引当を実施しております。また、積極的にお取引先に対する経営支援を強化しております。平成23年3月末の金融再生法開示債権は前期比23億円増加の231億円となりました。

なお、金融再生法開示債権231億円には、担保保証のほか、将来的に損失を被ることに備え、すでに費用として引当している部分も含まれております。開示債権に対する保全額は219億円、保全率は94.72%あり、将来的な損失にも十分に備えております。

金融再生法開示債権額

(単位：百万円)

	平成21年3月末	平成22年3月末	平成23年3月末
金融再生法開示債権合計	19,157	20,725	23,123
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,010	6,180	5,198
危険債権	14,624	14,352	17,300
要管理債権	522	191	624
保全額	17,663	19,863	21,903
貸倒引当金	6,533	5,570	4,802
担保保証等	11,129	14,293	17,100
総与信残高（末残）	343,745	327,799	315,753



金融の円滑化に向けた取り組み

当行は創業来、お客様との間で長く続いた親密な関係を強化・維持し、ニーズに応じた金融サービスを提供する地域密着型金融の推進を基本としております。特に、中小企業者等のお客様に対する信用供与を円滑に行うため、お客様の存続・発展に資する金融仲介機能を十分に發揮できるよう努めております。

また、「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」の施行を踏まえ、お借入れ条件の変更等に関する取り組みにおける基本方針を制定いたしました。この方針に基づき、地域金融機関としての健全性を維持向上し、経営支援を中心とした相談機能を充実させること等の金融円滑化に向けた取り組みを、従来に増して適切かつ積極的に実施してまいります。

【主な取り組み】

- 事業者ローン「勇士3000」や「フロンティア500」、「ふくほうプライムサポート」、ABL（資産担保貸出、動産・流動資産を活用した融資手法）、機械設備を担保とした「機械担保ローン」などの取り扱いによる担保・保証に過度に依存しない融資推進
- 行員の目利き能力（融資審査能力）向上のため中小企業診断士やFP技能士など人材育成
- 法人営業グループによる情報収集や資金需要に対するご相談やご提案
- 法人営業役席のきめ細やかな金融サービス提供によるサポート
- 中小企業融資推進室等による本部サポート体制の整備
- 財團法人ふくい産業支援センターと連携した移動経営相談会の実施
- 地元大学との連携を強化し、大学が保有する技術情報を地元企業のマッチングに関する支援
- 企業経営支援室による経営改善活動のサポート
- ビジネス商談会の開催によるビジネスチャンス創出
- 「福井銀行ビジネスマッチング情報交換制度」や「第二地銀加盟行ビジネス情報交換制度（愛称：B-net）」によるビジネスマッチングのサポート
- 中小企業経営診断システム（MSS）を利用したふくほう財務診断サービスの実施
- 金融円滑化ご相談窓口の設置による中小企業の皆様や住宅ローンご利用の皆様のご事情に応じたきめ細やかなご相談



移動経営相談会

ふくほう財務診断サービスのご案内

中小企業のお客様の企業経営支援の一環として「中小企業経営診断システム（MSS）」を利用した簡易な診断サービスを開始いたしました。ご利用料は無料です。くわしいサービスにつきましては最寄りの当行本支店または営業担当者までお気軽にお申し付けください。

※なお、財務診断の結果は、融資の審査の判定に用いるものではなく、あくまでお客様の財務状況の把握、経営改善に活用していくことを目的としたものです。また、数値は絶対的なものではなく、ひとつの目安としてください。

住宅ローンご返済条件変更手数料の無料化のご案内

ご勤務先の事情等による離職等やご収入の減少などにより、住宅ローンのご返済計画の見直しをされるお客様について、「中小企業金融円滑化法」の趣旨を反映し、平成21年12月4日から平成24年3月31までの間、当行の住宅ローンに係るご返済条件の変更手数料(15,750円)を無料化いたします。ただし、新規の条件変更時のみとします。

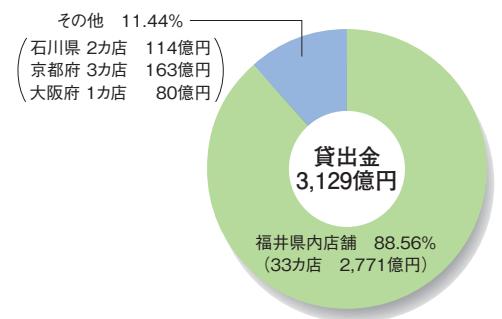
※手数料無料化の詳細につきましては当行の営業店窓口でお問い合わせください。

6000先訪問運動

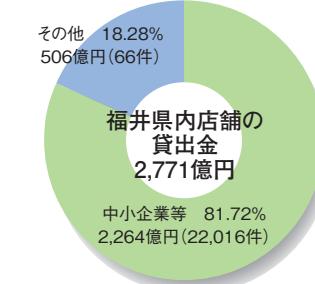
ご融資先との関係強化と新たなご融資先への訪問運動として全店で6000先訪問運動に取り組んでおります。

地域の皆様へのご融資

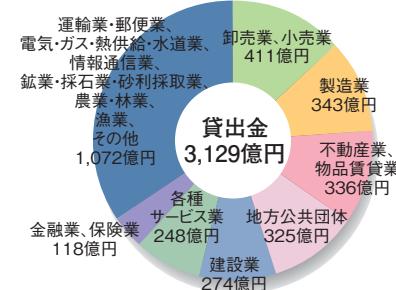
店舗所在地別の貸出金状況（単体） (平成23年3月末現在)



福井県内店舗の貸出金に占める 中小企業等貸出金の状況（単体） (平成23年3月末現在)



業種別貸出金の状況（単体） (平成23年3月末現在)



第4回ふくほうビジネス商談会「ふくいやさしい食フェア2010」。
平成22年6月9日 福井県産業会館で開催。

出展者数	来場者数
124社	2,650名 (事業者: 323社 537名、一般: 2,113名)

金融サービスの向上

春江支店の移転新築オープン

地域に密着した金融機関として更なるお客様満足への向上と、相談・コンサルティング機能強化のため平成22年10月25日に春江支店が移転新築オープンいたしました。個性的で存在感のある外観と、広い駐車場を完備しバリアフリーにも対応しております。店内は各種ご相談をゆっくりお受けするローカウンター、ブース型のコンサルティングコーナーを設置したほか、セミナー会場として利用できる会議室を備えております。また、お客様がお待ちの間もくつろいでいただけるよう大型ディスプレイによるテレビ放映や無料ドリンクコーナーを備えております。



新しくなった春江支店



明るい空間のロビー



無料ドリンクコーナー

ゆめプラザ（四ッ居）

ゆっくりおくつろぎいただけるご相談コーナーや小さなお子様用スペースを設置し、お客様のところに専門スタッフが出向いてご相談を承る活動にも力を入れております。また、「金融円滑化ご相談窓口」を設置し中小企業の皆様や住宅ローンご利用のお客様に対し、ご事情に応じたご相談を承っております。

取扱業務：住宅ローンや教育ローンなどローン全般、投資信託、医療保険、学資保険、個人年金保険、年金お受け取りに関するご相談・アドバイス業務など

住所：福井市北四ッ居3-15-66

フリーダイヤル：0120-683-294

営業時間：平日 9:00～19:00（毎週水曜日定休）
土・日・祝日 10:00～17:00
年末年始（12月31日～1月3日）を除きます。



ゆめプラザ（四ッ居）

お客様感謝デーの開催

日ごろのご愛顧に感謝を込めて全店でお客様感謝デーを開催し、懸賞品付金利上乗せ定期預金「夢きらら」を取扱いいたしました。

ライフローン「医療プラン」

お客様が資金面での不安を解消し、治療等にかかる費用のご負担軽減にお役立ていただくため、ご親族様が受けられる手術・入院・検査等の費用を対象とするライフローン「医療プラン」を取り扱っております。福井県立病院『陽子線がん治療センター』での陽子線がん治療や、満18歳未満のお子様の治療の場合には、ご融資金利の割引制度もございます。この商品は『福井県陽子線治療資金利子補給制度』の対象です。

ATMの利便性向上

当行のキャッシュカードは全国のイオン・マックスバリュなどに設置されているイオン銀行のATMを利用手数料無料でご利用になれます（出金のみ）。

コンビニATMではセブン銀行とATM利用提携し、全国のセブン・イレブンなどに設置されているセブン銀行のATMを利用手数料無料でご利用になれます（入出金）。そのほかローソン、ファミリーマート、サークルK、サンクスなどに設置されている各ATMもご利用になれます（利用手数料がかかります）。

環境への配慮

お客様の環境配慮への対応を金融面から応援する取り組みを行っております。行内においても温室効果ガスの排出削減を目指す国民運動「チャレンジ25」に参加し、クールビズなどに取り組んでおります。

＜環境に配慮した商品・サービス等＞

- LPガス住宅ローン
- オール電化住宅ローン
- マイカーローンの金利割引サービスにエコカー購入を対象条件に設定
- 事業性融資「ふくほうプライムサポート」の金利割引サービスにISO14001またはエコアクション21認証取得を対象条件に設定
- エコクロス通帳の導入、ほか

「お客様の声」にお応えして

金融サービス向上を目指し毎年9月、「お客様の声」アンケートを実施しております。お寄せいただいたご意見やご要望とともに平成22年度は、主に次のような取り組みを行いました。

- 音声ガイダンス機能が付いたATMを増設いたしました（平成23年5月31日現在21台）。
- ATMでキャッシュカードによる出金と通帳記帳を同時にできるようにいたしました。
- ATMで総合口座の定期預金のお預け入れをできるようにいたしました。
- 共通印鑑のお届けにより、口座開設店以外の店舗で普通預金・貯蓄預金・定期預金の解約出金をできるようにいたしました（個人の口座に限ります）。
- ふくほう法人WEBバンキングサービスのご利用時間を延長いたしました（振込振替サービスの予約扱い終了時間17時を21時までに変更等）。
- ふくほう法人WEBバンキングサービスの接続回線を増設いたしました。
- 快適な利用環境により、親しまれる店舗づくりを目指して店舗・ATMコーナーの改裝、駐車場の拡大、スロープ設置等によるバリアフリーへの対応に取り組んでおります。

※商品・サービスの詳細につきましては最寄りの当行本支店または営業担当者までお気軽にお問い合わせください。

地域の皆様とともに

「福井県応援ファンド」の取扱い

福井県に関する企業の株式に投資し地元経済の発展を応援する投資信託商品「福井県応援ファンド」を取り扱っております。今年で運用開始5周年を迎え、信託報酬の一部を日本赤十字社福井県支部の活動資金として寄附を行っております。平成23年3月には寄附金123万円を贈呈し、累計では978万円となりました。



子育て応援バンクの取り組み

少子化問題に対応するためCSR活動の一環として「子育て応援バンク」を宣言し、地域のお客様の子育てを金融面から応援する取り組みを行っております。

子ども手当をお受け取りのお客様を対象とした「子ども手当受取口座のATM振込・利用手数料キャッシュバックサービス」をはじめ住宅ローン子育て金利割引制度、子育て応援定期、子育て応援に積極的な企業のお客様向け事業性融資商品の金利割引の取扱いのほか、金融経済教育活動や行員手づくり創作童話の制作活動に取り組んでおります。

また、福井県が推進するママ・ファースト運動「すまいるFカード事業」に協賛しております。



子育て応援バンクのマーク



行員手づくり創作童話（ゆめたろうとドーナツやさん）より ©

「福邦カップ争奪ゲートボール大会」の開催

地域のお客様の交流や健康づくりにお役立ていただくため平成22年7月から11月にかけて「第3回福邦カップ争奪ゲートボール大会」を開催いたしました。平成23年6月から第4回の予選大会が始まりました。



平成22年度は約1,000名の選手の皆様のご参加をいただきました。

コミュニケーションボードの設置

耳の不自由な方や外国人の方などのお客様に、ご希望の取引や手続きをスムーズに行っていただけるよう全国銀行協会作成の「コミュニケーションボード」を店頭に設置しております。記号や文字を指し示してご利用になれます。



コミュニケーションボードの一部

女性プロジェクトチームTiaraの取り組み

地域のお客様の満足度向上とワーク・ライフバランスなどを目的とした女性プロジェクトチームTiara（ティアラ）が活動しております。

経営強化計画について

目標とする経営指標

平成21年3月に策定した経営強化計画に基づいた様々な施策に積極的に取り組んでおります。その中の経営改善の目標値として、収益性においてはコア業務純益ROAの向上、業務の効率性においては業務粗利益経費率の改善を掲げ、活動を進めてまいりました。

(1) 収益性を示す指標 (単位: %)

	平成23年3月期計画
コア業務純益ROA	0.40

※コア業務純益ROA = コア業務純益／総資産平残

(2) 業務の効率性を示す指標 (単位: %)

	平成23年3月期計画
業務粗利益経費率	64.80

※業務粗利益経費率 = (経費 - 機械化関連費用) / 業務粗利益

経営諮問委員会の設置

当行では、取締役会の諮問機関として経営諮問委員会を設置しております。外部有識者の方から、地域への信用供与の円滑化や地域経済活性化に向けた経営戦略など、客観的な立場で評価および助言・提言をいただきます。助言等は経営に反映することで経営の客觀性と透明性を高めてまいります。第4回の同委員会は平成23年1月に開催いたしました。経営強化計画の履行状況報告書（平成22年12月）についての説明のほか、次期経営強化計画の基本戦略について各委員の皆様からご意見等をいただきました。概要是当行ホームページでご覧になります。

構成委員

委員名	公職・役職等
児嶋 真平	京都大学名誉教授、福井大学名誉教授、前福井大学学長
増田 仁視	前福井経済同友会代表幹事、増田公認会計士事務所所長
山本 雅俊	前福井県副知事、元財團法人ふくい産業支援センター理事長

（五十音順、敬称略）

第103期連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成23年3月31日現在) (単位:百万円)

科 目	金 領
(資産の部)	
現 金 預 け 金	13,442
コールローン及び買入手形	510
有 価 証 券	100,727
貸 出 金	313,491
外 国 為 替	257
そ の 他 資 産	1,757
有 形 固 定 資 産	5,019
建 土	1,160
リース資産	3,409
その他の有形固定資産	71
無 形 固 定 資 産	378
ソ フ ト ウ エ アン	571
の れ ん	237
リース資産	0
その他の無形固定資産	294
緑 延 税 金 資 産	39
支 払 承 諸 見 返	1,237
貸 倒 引 当 金	2,045
資 産 の 部 合 計	△ 6,941
(負債の部)	
預 金	407,642
そ の 他 負 債	3,193
賞 与 引 当 金	263
退 職 給 付 引 当 金	1,017
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	216
睡 眠 預 金 損 失 引 当 金	42
利 息 返 還 損 失 引 当 金	2
偶 発 損 失 引 当 金	210
再 評 価 に 係 る 緑 延 税 金 負 債	681
支 払 承 諸	2,045
負 債 の 部 合 計	415,316
(純資産の部)	
資 本 金	7,300
資 本 剰 余 金	6,256
利 益 剰 余 金	2,396
自 己 株 式	△ 204
株 主 資 本 合 計	15,748
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	297
土 地 再 評 価 差 額 金	758
評 価・換 算 差 額 等 合 計	1,055
純 資 産 の 部 合 計	16,804
負債及び純資産の部合計	432,120

連結損益計算書 (平成22年4月1日から)
(平成23年3月31日まで) (単位:百万円)

科 目	金 領
経 常 収 益	10,538
資 金 運 用 収 益	
貸 出 金 利 息	8,247
有 価 証 券 利 息 配 当 金	7,085
コールローン利息及び買入手形利息	1,142
預 け 金 利 息	14
そ の 他 の 受 入 利 息	3
役 務 取 引 等 収 益	2
そ の 他 業 務 収 益	1,342
そ の 他 経 常 収 益	840
経 常 費 用	107
資 金 調 達 費 用	
預 金 利 息	725
コールマネー利息及び売渡手形利息	712
そ の 他 の 支 払 利 息	0
役 務 取 引 等 費 用	13
そ の 他 業 務 費 用	898
営 業 経 費	587
そ の 他 経 常 費 用	6,395
経 常 利 益	1,011
特 別 利 益	694
株 式 等 売 却 損	47
株 式 等 償 却	27
そ の 他 の 経 常 費 用	242
特 別 損 失	
固 定 資 產 処 分 損	919
減 損 損 失	0
資 産 除 去 損失額に伴う影響額	1
そ の 他 の 特 別 損 失	353
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	568
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	25
法 人 税 等 調 整 額	△ 171
法 人 税 等 合 計	△ 145
少 数 株 主 損 失	714
当 期 純 利 益	0
資 产 の 部 合 計	714

第103期財務諸表 (単体)

貸借対照表 (平成23年3月31日現在) (単位:百万円)

科 目	金 領
(資産の部)	
現 金 預 け 金	13,442
現 金	5,115
預 金	8,326
コールローン	510
有 価 証 券	101,116
国 地 方 社 株 式	44,551 8,410 34,919 1,977 11,257
外 国 為 替	257
貸 出 金	312,910
割 引 手 形 証 書	9,135 26,438 247,358 29,977
手 形 貸 越 当 座	247,358 29,977
外 国 為 替	257
外 国 他 店 預 け 金	257
そ の 他 資 産	1,443
前 払 費 用	6
未 収 収 益	386
金 融 派 生 商 品	5
支 払 承 諸	2,045
負 債 の 部 合 計	415,657
(純資産の部)	
有 形 固 定 資 產	5,018
建 物 地 リース資産	1,160 3,409 70
そ の 他 の 有 形 固 定 資 產	377
無 形 固 定 資 產	570
ソ フ ト ウ エ ア リース資産	237 294
そ の 他 の 無 形 固 定 資 產	38
綠 延 税 金 資 產	1,231
支 払 承 諸 見 返	2,045
貸 倒 引 当 金	△ 6,650
資 产 の 部 合 計	431,895
負債及び純資産の部合計	431,895

損益計算書 (平成22年4月1日から)
(平成23年3月31日まで) (単位:百万円)

科 目	金 領
經 常 収 益	10,328
資 金 運 用 収 益	8,214
貸 出 金 利 息	7,051
有 価 証 券 利 息 配 当 金	1,142
コールローン 利 息	14
預 け 金 利 息	3
そ の 他 の 受 入 利 息	2
役 務 取 引 等 収 益	1,166
受 入 为 替 手 数 料	352
そ の 他 業 務 収 益	813
外 国 為 替 買 益	840
商 品 有 価 証 券 売 却 益	12
國 債 等 債 券 売 却 益	0
金融派生商品収益	827
そ の 他 経 常 収 益	107
株 式 等 売 却 益	37
そ の 他 の 経 常 収 益	69
經 常 費 用	9,402
資 金 調 達 費 用	724
預 金 利 息	712
コ ー ル マ ネ ー の 一 手 手 数 料	0
そ の 他 の 経 常 費 用	12
役 務 取 引 等 費 用	862
支 払 为 替 手 数 料	67
そ の 他 業 務 費 用	794
國 債 等 債 券 売 却 損	587
そ の 他 経 常 費 用	6,306
営 業 経 費	922
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	622
貸 出 金 償 却 損	17
株 式 等 等 儗 儈 金	47
金 錢 の 信 託 運 用	27
そ の 他 の 経 常 費 用	22
經 常 利 益	185
特 別 利 益	925
特 別 損 失	0
特 別 利 益	351
特 別 損 失	11
固 定 資 產 処 分 損	301
減 損 損 失	37
資 産 除 去 損失額に伴う影響額	0
そ の 他 の 特 別 損 失	1,055
税 金 前 当 期 純 利 益	575
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	17
法 人 税 等 調 整 額	△ 169
法 人 税 等 合 計	△ 152
当 期 純 利 益	727

